

神奈川県立県央方面特別支援学校（仮称）
開設準備グループだより【第1号】

平成27年7月

県央方面特別支援学校開設準備グループ

〒243-0422 神奈川県海老名市中新田 4-12-1

県立中央農業高等学校内

電話（046）292-5612

KTG28

「KTG28」の意味は編集後記をご覧ください。

ご挨拶

ーいのちを守り、育み、広げ、未来へつなぐー
県央方面特別支援学校開設準備担当 専任主幹 新井 雅明

県央方面特別支援学校（仮称）は、近隣の特別支援学校の過大規模化を改善して、教育環境を適正化すること等を目的として、県立中央農業高等学校の果樹園等の跡地に建築中です。

昨年度までは、校舎の工事が開設準備の中心でしたが、4月からは教育内容や教材等の準備のために私たち開設準備担当が、中央農業高等学校の一室で準備をしています。早いもので始めてから3ヶ月以上過ぎました。

この間に、教育目標、教育方針などを決め、学校案内を作成して、学校説明会をしました。

学校説明会では、県央方面特別支援学校の一番大切にしたいこととお話しました。

それは、子どもたちの「いのち」に向き合い、「生きる力」を育むことです。この「生きる力」を「子どもが周囲の人や物、社会や自然とかわるること」＝「環境とのかかわり合い」と捉えなおし、これを豊かにしようとしています。そして、その具体化のために「いのちを守る」「育む」「広げる」「未来へつなぐ」という4側面からアプローチしたいと考えています。

このような教育活動は、障害のある人もない人も共に学び、育ち、暮らし、働く共生社会の形成に貢献できると考えています。何故なら、障害のある子ども達が積極的に周囲とかわるること自体が、周囲の人や社会そのものを変えるきっかけとなると思うからです。

このような考えを教育目標にし、説明会で話をさせていただきました。既に説明会は終わり、今は、転入学に向けた教育相談を行っているところです。

この経過の一端をお知らせしたくて、このような便りを発行しました。是非ご一読ください。

〈私たちが開設準備を担当しています〉

平成27年4月、4名でスタートした開設準備は、6月1日から、新たに2名のスタッフを迎え、6名で行っています。

専任主幹 新井 雅明（あらい まさあき）

専任主幹兼グループリーダー 林 麻佐美（はやし まさみ）

主幹 渡邊 裕司（わたなべ ゆうじ）

主幹 水上 正樹（みずかみ まさき）

主幹 藤岡 歩（ふじおか あゆみ）

副主幹 若松 康之（わかまつ やすゆき）



県央方面特別支援学校（仮称）学校説明会を開催しました。



平成 27 年 5 月には、平成 28 年 4 月の開校時に通学対象となる児童生徒の保護者の皆様にむけて、伊勢原養護学校、相模原養護学校、座間養護学校、茅ヶ崎養護学校、藤沢養護学校を各会場にして、新しい学校の教育方針や概要、今後の流れについてお話をさせていただきました。

また、学校区にお住まいの保護者の方々などにむけて、5 月 28 日には厚木市総合福祉センター、6 月 3 日には海老名市文化会館を会場にして小中学部の学校説明会を、6 月 18 日、22

日には、中央農業高校を会場にして、高等部の学校説明会を実施しました。

多くの保護者の皆様にご参加いただき、新しい学校への期待をあらためて感じたところです。

さらに、転学に向けて個別相談をさせていただいています。お聞かせいただいた貴重なご意見やお気持ちをしっかりと受け止め、新しい学校づくりに取り組んでいくとともに、安心して転学していただけるよう、丁寧に準備をすすめていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。



現在の工事状況

昨年より始まった建設工事は、8 月末の工事完了めざして着々と進められているところです。どんどんできあがる校舎を見ながら期待をふくらませています。お近くにお越しの際は、外側からご覧ください。

9 月末には校舎の引き渡し予定されています。その後、皆様に見学をしていただく機会をつくります。あらためてお知らせをいたしますので楽しみにしててください。



平成 27 年 6 月正門側より



平成 27 年 7 月 校舎北側より

編集後記

開設準備グループだよりの名前「KTG28」には、平成 28 年 4 月に開設する 28 番目の神奈川県立の特別支援学校、そしてその特別支援学校の中のセンターを目指すという意味がこめられています。これから、準備の状況について情報をお届けいたしますのでよろしくお願いいたします。